

地層のでき方

教科書	85	～	90
Iワーク	78	～	81

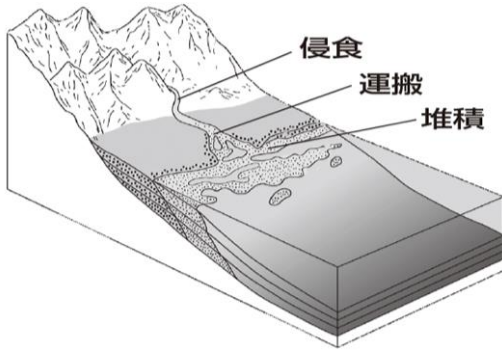
地層のでき方

土砂 岩石や鉱物の破片
粒の大きさにより分類される

種類	れき	砂	泥
大きさ	2mm以上	2mm～1/16mm	1/16mmまで

風化 太陽の熱や水のはたらきにより、岩石が表面からくずれること

流れる水のはたらき



侵食 風化した岩石をけずり取る
(上流)

運搬 土砂を下流へ運ぶ
(中流)

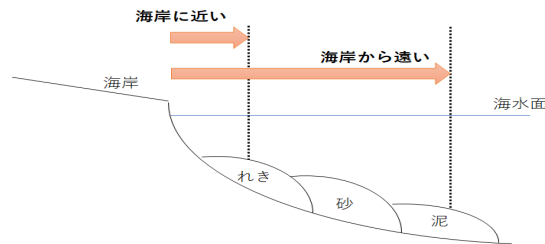
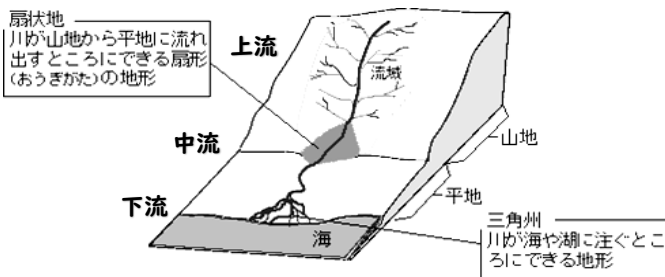
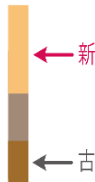
堆積 河口や海底に平らに積もる
(下流・河口付近)

火山灰は広い範囲に積もるので、地層を知る手がかりになる

かぎ層 地層を比べるときの手がかりになる層

柱状図

地層のようすを
柱状にしたもの
(下の層が古く
上の層が新しい)



粒の大きい(重い)土砂から先に沈む
粒の大きい(重い)土砂が積もっているときは
流れが速かったと推測できる

押し固められてできた岩石

堆積岩 堆積した粒が固まってできた岩石
粒がまるい特徴がある

堆積岩	泥岩	砂岩	れき岩	石灰岩	チャート	凝灰岩
主な堆積物	岩石や鉱物の破片			生物の遺骸など		火山の噴出物
	泥(シルト・粘土)	砂	れき	炭酸カルシウム	二酸化ケイ素	火山灰など
特徴	直径 1/16mm未満	直径 1/16～2mm	直径 2mm～	塩酸をかけると 二酸化炭素発生	塩酸をかけると 気体は発生しない	

※めっちゃ固い